



# 岩江中だより

第46号  
 発行日：平成27年 3月20日  
 発行：三春町立岩江中学校  
 電話：0247-62-8290  
 FAX：0247-62-8380  
 E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

## 【平成26年度岩江中学校卒業証書授与式！ ～決意のまなざしを前にして～】

3月13日（金）は、平成26年度岩江中学校卒業証書授与式が厳粛な雰囲気の中で行われ、卒業生46名の一人ひとりに卒業証書を手渡しました。式台に向かう子どもたちの視線はどこまでもどこまでも透きとおっていて、見返す私の視線の中に刺さってくるような感覚をもちました。旅立つことへの不安や悲しみ、これからの未来への決意とでもいうものを強く感じました。若者のその決意に満ちたまなざしに心から感動いたしました。

『自立』の教育目標のもと、「真理」を追い求め、「博愛」の心を培い、心身の「健康」に留意し、「貢献」することの喜びを見いだしてきた46名の卒業生。先輩から岩江中学校を受け継ぎ、さらに、すばらしい学校にしてくれた3年生に、“幸多かれ”と心より祈りました。

同時に、これまで、学校運営にご理解・ご協力をたまわりました保護者のみなさまに心より感謝申し上げます。今の岩江中学校の現状を維持すると共に、さらに質の高い教育をめざして努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



## 【古くて新しい日本文化『箏』の授業がありました！】

3月19日（木）、校外から講師の吉田淳子先生をお招きして、和の音楽『箏』の授業が行われました。

始めに、和楽器『箏』の歴史や名称等、操作法等についてご説明いただいた後、『お稽古』として実際に箏を使った学習へと進みました。正座や両手をついたあいさつ、礼儀作法などについて指導があり、最終目標としては、実際に『さくらさくら』を演奏できるようにするという具体的な目標をもって授業が進められました。

途中、吉田先生の説明に一つ一つうなずきながら聞く生徒、名曲『六段』の演奏のすばらしさや音の出方に、「びっくりしました。」という感想をもつ生徒などがいて、本物の和の音楽に興味・関心満々で取り組んでいました。

先生に後ほどおうかがいしたところ、『箏』の授業は、日本の音楽の学習にとどまらず、日本文化の学習まで視野を広げた学習であり、自国の文化を理解して初めて、本当の国際人としての活躍があるという内容のお話をなさっていました。



## 【1年間、お世話になりました。 ～水槽の金魚も大きくなりました！～】

昨年4月よりスタートした平成26年度。保護者や地域のみなさまのご理解・ご協力をいただきつつ、子どもたちの学力向上、健全育成、進路実現等に全力で取り組んでまいりました。

3月13日（金）には、卒業生46名を無事送りだし、その後、16日（月）の合格発表で、全員の進路先が確定、23日（月）には、在校生の修了式が行われます。今日のトイレのスリッパはご覧のとおりです。このところ、このような状況の日が続いています。公共の場の使い方に関心が向いてきて、トイレのスリッパを整えなければならないという雰囲気ができつつあるのではないかとうれしく思います。ふっと、目を転ずれば、知らない間に、生徒昇降口の金魚（鯉かも？）もとても大きく成長していました。



本当に1年間お世話になりました。平成27年度も、かわらぬご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

下の写真は、本号第1号でお知らせした、満開の岩江の桜です。寒い冬を耐えて生きてきた桜の木の喜びが、一枚一枚の花びらになって咲き誇っています。こんな美しい桜があちこちに咲き乱れる岩江という地区のすばらしさに心を動かされた日のことを思い出しました。

時には喜び、時には涙し、1年間、懸命に奮闘した子どもたち。さまざまな経験を積み重ねた平成26年度。そのがんばりが、やがて、子どもたちの“未来”で美しく花開くよう心より祈念して、平成26年度の学校だよりの筆を置かせていただきます。長い間ご覧いただき、ありがとうございます。次年度もよろしくお願いいたします。

